

フラワーハイム

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	1	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の基本理念を掲げ、グループホームの基本方針	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を文章化して掲示し、朝礼時「経営理念」「基本方針」の唱和を行ない周知徹底に努めています。	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	契約書に運営方針を明示し、グループホーム内にも入居者の方の目線で掲示を行ない又カンファレンスや訪問の際家族の方を交えて説明行っています。地域の人々には運営推進会議やグループホーム便りを通じて理解して頂く様に取り組んでいます。	0		
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時など近隣の方とお会いした際には、いつでも気軽に遊びに来て頂けるように声掛けを行っています。	0	
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	月に1回事業所の周りの道路の清掃に取り組んでいます。	1	今後地域に開かれた施設を目指し、地域行事などに積極的に参加を行ない、交流を深める機会を設けていきたいと思っております。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者機関による外部評価の実施の意義や選ばれる施設を目指すことの重要性など十分理解し、評価後は改善すべき点については、速やかに取り組んでいます。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業報告や議題について話し合いを行ない又、外部評価に関する趣旨説明や評価結果、取り組みなどの報告をし、参加された方々の幅広い意見や要望などを取り入れ、サービスの質の向上に努めています。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の行政事業（介護教室）を受託参加しています。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度に関する学習会や研修会に参加しており、必要時には説明できる体制を取っています。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の人権啓発活動を事業所全体で取り組んでいます。又高齢者虐待防止法に関する勉強会を実施し、高齢者に対する虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、契約書や重要事項説明書に沿って解りやすいように十分な説明を行っています。又解約の際には、本人や家族等に十分な説明を行い、ご本人や家族の不安の軽減を図り、同意を得て理解、納得して頂けるように努めています。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約の段階で入居者本人や家族に対し相談窓口の説明を行い、書面で表し又ホーム内の見やすい場所に掲示しています。入居者の方からの不満や苦情が寄せられた場合は、速やかに対応し、定例会等で検討し、改善に向けて職員間の連携を図り迅速に対応を行っています。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時には、必ず入居者の状態、状況等について報告し、新規の職員の自己紹介を行っています。訪問の無い方についても、電話や訪問時に報告を行っています。又ホーム便りを通じホームでの暮らし振りの紹介を行っています。金銭をお預かりしている方については、出金前に電話連絡にて確認を取り、出納帳記入し訪問時確認をして頂	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約の段階で入居者本人や家族に対し相談窓口の説明を行い、書面で表し、ホーム内の見やすい場所に掲示しています。又玄関に意見箱を設け随時意見や苦情等受け付け、速やかに対処出来るよう心掛けています。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定例会を全員参加のもと開催し、意見交換を行い記録に残し、不参加者にも申し送りを行っています。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	運営基準、コンプライアンスを基本にシフトを組んでいます。出勤時間については、入居者の状態変化に応じ臨機応変に対応しています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職の際には、認知症の方の心理的機能の特徴を十分に理解し、入居者及び家族の方に不安やストレスを与えないよう配慮し、接するように努めています。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	0
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用については、介護職の経験、人間性を重視し、面接希望者に対して公平な面接を行っています。又現職者に対しても研修会などへの参加をバックアップしレベルアップに努めています。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育に関するテキストを準備して研修会を行ない、事業所全体で人権教育、啓発活動に取り組んでいます。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や力量に応じて、必要な研修を受講できる体制を整え、資料など職員間で共有できるようファイルし確認しています。又月に一度事業所全体で職員のスキルアップを図る為の研修会を開催しています。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会に参加し、研修会を通じ地域の同業者の方々との交流や相互の意見交換をはかり、サービスの質の向上に努めています。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会主催の花見、食事会、慰安旅行など仕事上の悩みやストレスを発散する機会を設けています。又必要時には、施設長が相談、助言、指導など話し合う機会を設けています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格取得、経験年数など職務規定により昇給、昇進など行い、職員が意欲を持って働けるよう努めています。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	2	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4項目・外部評価 1項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご希望時には、グループホームの見学を受け入れています。又利用の申し込みがあった際には、他事業所からの情報提供を受け、面談の際には、本人より傾聴しニーズを把握するように努めています。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご希望時には、グループホームの見学を受け入れています。又利用の申し込みがあった際には、他事業所からの情報提供を受け、面談の際には、家族よりよく話を伺い相談を受けとめるように努めています。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者の生活歴や家族の状況、直面している問題などを理解し必要としている支援を見極めながら、対応を行なうように努めています。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者には、十分に説明行い、コミュニケーションを図りながら徐々に馴染んで頂けるよう努めています。又ご家族と相談し居室には、思い思いの物を持ち込んで頂き安心して生活して頂ける様に配慮し環境変化に伴う認知症の進行および悪化を防ぐように努めています。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6項目・外部評価 1項目	2	
係り と こ れ な 関 係 づ く り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、入居者の方に対して、人生の大先輩としての尊敬の気持ちを常に持って接し、食事作り、野菜作り、掃除、昔からのしきたりや習わしの行い方等入居者の方の協力を頂いて行っています。 (漬物、梅干し、おやつ、行事)	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と日頃より密に連絡を取り、病院受診など必要に応じ協力して頂き、かわりを持って頂き職員と連携を図り共に支え合う関係を築けるように努めています。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	夏祭りや敬老会、文化祭など季節の行事毎に案内状の送付を行ない、ご家族の方に参加して頂き、入居者の方と楽しめる機会を提供し楽しみや喜びを共有して頂く機会を支援しています。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪された際には、ゆっくりと居室の方で面会して頂くように配慮を行っていますが、外出の機会が、少なく又高齢化に伴い回数も少なくなっており今後の課題となっています。	1	今後は家族の方と連携を図り、入居者自身が外出し、馴染みの人や場所に訪れる機会を設けていきたいと思えます。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	体操やレクリエーション等コミュニケーションの機会を提供し、入居者同士支え合う場面を作っています。又喧嘩やトラブルが発生した場合、さりげなく仲を取り持ち話題や場面を変えるなどして、対応しています。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了については、現在、転院後死亡されたケースしかなく、その後、家族より依頼などはありません。	1	今後、家族よりの依頼等見受けられた際には、迅速に対応していきたいと思えます。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	4	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日頃より、コミュニケーションを図りながら入居者の思いや意向の把握に努め、困難な場合は、本人本位に検討し支援を行っています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントに取り組み、ひとりひとりの生活歴や馴染みの暮らしについて、把握を行っています。	1	今後も引き続きセンター方式に取り組み、充実させ入居者ひとりひとりに合った、個別ケアが行えるように努めていきます。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日ケース記録に入居者の方の様子、状態など記入を行い把握するよう努めており、ケアプランに対する実践と評価も支援経過表に記入しています。又毎月定例会を全員参加のもとモニタリングを行い、入居者の方の現状を総合的に把握できるよう努めています。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスの際には、本人や家族に参加をお願いしスタッフを交えて行い、主治医の意見書等も参考にしています。又家族が参加できない際にも、事前に電話で意向確認をしプランに活かすようにしています。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランに対する実施と評価を支援経過表に記入し、現状把握を行い見直しを行うようにしています。又入居者の方に対応できない変化が生じた場合は、即時に見直しのカンファを行い現状に即したケアプランを提供するように努めています。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日ケース記録に入居者の方の様子、状態など記入を行い把握するよう努めています。職員間の申し送りや伝達事項はPC入力を行い勤務前に必ず確認及び捺印しています。又CMや家族に日頃より、連絡や状態報告を行いケアプランに活かせるように努めています。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じて、柔軟に対応し支援を行なっていくよう努めています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署や地元消防団、地域の方と連携し年に2回避難訓練を行っています。	1	今後、必要性や要望に応じて、民生委員や社協などとの連携をはかり支援を行っていききたいと思います。
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて支援できる体制でいます。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人、家族からの意向確認出来ず、取り組み事例なし。	1	今後、本人の意向や必要性に応じて対応していききたいと思います。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による定期的な診療を行い、24時間連絡可能な体制があります。又併設の特養看護師より必要な医療処置を行い協力体制を図っています。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医によるアドバイスや助言があり、必要時には専門医への紹介を行っています。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日頃より主治医や看護師に入居者に関する相談を行い、アドバイスや助言をもらい必要時、特養の看護師と連携をとれる体制があります。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先の医療機関や家族と積極的に情報交換や相談を行い、退院後の受け入れ態勢など職員間で確認を行い、スムーズにいくよう努めています。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	意向確認行っていますが、殆どの家族が重度化や急変時には、主治医の指示及び勤務者の判断で救急搬送を希望されており、その旨を書面にて確認及び同意を頂き職員間で情報の共有に努めています。	1	今後終末期や重度化による対応を希望される場合は、本人や家族の意向確認を行い主治医に相談、連携を図りながら本人や家族の希望に添った支援を行っていききたいと思います。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取りマニュアルを作成し職員でグループホームで「出来る事、出来ない事」の見極めを行ない、又主治医と連携をとり本人や家族の希望に沿った支援を行うように取り組んでいます。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族に十分な説明を行ない納得していただけるように努めています。又関係機関との十分な情報交換や連携を図り、住み替えによるダメージを防ぐようにしています。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	2	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	2	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個別対応を基本に人生の大先輩としての尊敬の念を持ち、問題行動にも冷静にプライドを傷つけないよう対処を行っています。又プライバシーに関しては、個人情報の使用に係る同意書に沿って厳守する事を徹底しています。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	傾聴する事を心がけ、本人の希望に沿った支援を行う様にしています。又レクリエーションの際には、個人の希望を優先し行っています。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れに沿って行っていますが、あくまで入居者本人の状態に応じて臨機応変に対応しています。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問美容室を利用される際には、事前に希望などを聞いて満足される様配慮しています。掛かりつけの美容室を利用されている方については、ご家族同伴の上、外出して頂いています。又外出の際には一緒に衣類を選び化粧などを行ない喜ばれています。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常法人併設の特養管理栄養士が献立、調理したものを提供しています。汁物、御飯類のみ調理を行ない、汁物の野菜の下ごしらえなど入居者の方に手伝って頂いています。又入居者の方が好まれる団子汁や煮しめ等多く献立に取り入れ又食委員会で検討し選択メニューなども取り入れています。	1	今後、徐々に献立を決めて調理をする機会を設けて行きたいと思います。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	通常、一緒に物を食べられますが、体調面や嚥下状態を考慮し、嚥下状態の悪い方については、刻み食、とろみ食、ソフト食にて対応行っています。又どうしても一部の入居者の方が好まれないもの(牛乳等)については、栄養士と相談し他の物で代用しています。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	介助が必要な方の排泄間隔、兆候など把握し誘導を行っています。又排泄チェックシートを全職員で把握しています。	0	
59 外部評価 26	入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の希望を確認行ない、拒否される方については、間隔、衛生面など考慮し声掛け誘導を行っています。時間については現在日中に行っていますが、夜間希望される場合は、臨機応変に行っています。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人の睡眠パターンを把握し、不眠の方については、眠剤に頼らず声掛けや見守りを行う事で対応行っています。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野や生活歴を活かした役割を見つけ分担する事で、自信をつけたり、張り合いのある生活を送って頂けるよう支援を行っています。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持金については、小額を一部の入居者の方が持たれていますが、大金については事務所の方でお預かりしています。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を日課として取り入れ、入居者の方の状態や希望に応じ、戸外へ出かけられるよう支援を行っています。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の申し出があれば、外出の準備などを行いご家族との外出がスムーズに行くよう支援しています。又紅葉見学、藤見など外出の機会を設けています。	1	各個人の行きたいところややりたい事などコミュニケーションを図りながら、実現に向けて支援していきます。
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話利用の際には、代行行っています。年賀状や暑中見舞いなど書かれる機会を提供しています。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会の際には、各居室で行って頂き湯茶などで接待し、ゆっくり過ごして頂けるよう配慮行っています。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間のみ職員の配置、人数を説明し事故防止などの観点よりご家族に了承を得、玄関の施錠を行なっています。又委員会活動や研修会にて、事業所全体で身体拘束に関する取り組みを行い、マニュアルを作成し、自己啓発に努めています。	0	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の方やご家族等に心理的圧迫をもたらさないよう日中玄関の施錠等は行わず、職員の見守りにて対応行っています。	0	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員で業務分担し、入居者の方のブラーバシーに配慮しつつ支援を行うようにしています。又随時見守りを行い入居者人数確認表にて定期的に確認チェックを行うことで把握するようにしています。	0	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状態に応じ対応し、預かりの必要な方については、家族の了承を得事務所で預っています。	0	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急マニュアルを整備し、職員間で定期的に確認し徹底を図っています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員研修やグループホーム研修に参加し、初期対応や応急手当の勉強を行っています。又、マニュアルを整備し職員で確認し徹底を図っています。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難経路及び避難場所について全職員が、把握し又災害に備えて避難訓練を実施しています。地域の方々にも運営推進会議などを通じ協力をお願いしています。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族には、カンファレンスや状態報告行方際、起こり得るリスクについても一緒に説明行ない、理解して頂き対応策についても話し合う機会を設けるようにしています。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日ケース記録を行ない、各入居者の状態を把握し、申し送りを徹底しています。又状態変化など見受けられた場合は、早急に主治医及び家族に連絡し指示を仰いでいます。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人の服薬状況表を作成行ない、職員全員が把握し、効能や副作用についても資料を準備し確認、認識し誤薬事故防止を図っています。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給を促し(牛乳、紅茶、煎茶、しょうが湯など)日課として体操や散歩を取り入れていきます。又主治医による医学的管理により排便コントロールを行っています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行ない、必要な方には声掛け介助を行っています。又訪問歯科の歯科医のアドバイスにより一人ひとりに応じた支援を行っています。	0	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人別に食事量のチェックを行いPC入力し、水分補給に関しては声掛け行なっています。栄養マネジメントについては、特養管理栄養士が作成する献立にて把握し連携を図っています。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対策についての研修会参加及びマニュアルを整備し、状態観察などを行い早期発見、対応に努めています。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	併設のため食材については、栄養課で管理栄養士指導のもと管理、使用行っています。又ホームで使用する調理器具や布巾などは、毎日消毒行なっています。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りの花壇やプランターに花を植えて季節感や家庭的な雰囲気を出すようにしています。又看板、表札など手作りで作成しています。	0	
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	調度品や物品、装飾品など色、素材、柄など家庭的で温かい雰囲気の物を選ぶように心掛け、季節の花を飾るようにしています。職員は不快な音で入居者の方に不快感を与えないよう配慮しています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	デイルームにソファを設置し又戸外にもベンチを置き、草花や四季の風景なども楽しめるよう配慮しています。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族には、以前家庭で使用されていた家具や小物を持参して頂き、面接の際、口頭で環境変化に伴う認知症の進行について理解を頂くようにし協力を得ています。又レクリエーションなどで作られた物や家族が持参された絵や写真などを飾り居心地よく過ごしていただけるよう努めています。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に換気を行ない、臭いや空気のとどみがないよう努めています。又温度調節を行う際には外気温と大差ないように配慮しています。尚床暖房設置により風邪などの予防にも配慮しています。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所要所に手すりを設置し、利用者が安全で残存機能を生かし自立した生活を送って頂けるよう努めています。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者の方一人ひとりの得意分野（洗濯物たたみ、シーツたたみ、畑の手入れ、掃除など）になると自然と協力して頂く姿見受けられており、今後もコミュニケーションを図りながら入居者の方のペースで支援を行っていききたいと思います。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇や畑にて花や野菜作りをして頂き、草取りや水撒きなど手伝って頂いています。又季節毎の花々を楽しんだり季節感を味わって頂けるようベンチを設置し楽しまれています。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。